

日本線虫学会第4回大会プログラム

会 期： 1996年10月14日(月)～15日(火)

会 場： つくば研究支援センター (つくば市千現 2-1-6)

大会会場： 研修室A (2F)

懇親会会場： テクノホール大 (1F)

日 程： 10月14日 (月)

13:00～13:30 総 会

13:30～15:15 シンポジウム

15:30～17:42 一般講演

18:00～20:00 懇親会

10月15日 (火)

9:00～12:00 一般講演

13:00～17:00 エクスカーション

茨城県行方郡麻生町の甘しょ選果場、及び周辺の甘しょ圃場

大会事務局： 農林水産省 農業研究センター 線虫害研究室

〒305 つくば市観音台3-1-1 電話:0298-38-8839

〔講演者の方へのお知らせ〕

＊一般講演の講演時間は、講演者多数のため一題当たり12分(予鈴9分、2鈴10分、終鈴12分)に変更されました。時間厳守をお願いします。

＊＊本大会の一般講演の講演要旨は、会誌第26巻に登載する予定としております。要旨の修正が必要な場合は、10月末日までに農業研究センター 線虫害研究室(〒305 茨城県つくば市観音台3-1-1)宛に修正した要旨をお送り下さい。

〔エクスカーション参加お申込の方へのお知らせ〕

＊12時50分に大会会場玄関前にお集まり下さい。なお、近くには食堂がありませんので、昼食希望者は受付時にお申し出下さい。会場内レストランにて¥1,500で提供予定。

＊＊前号の案内で参加費無料とお知らせしましたが、現地まで往復3時間ほどのバス利用が必要となり、大会費では不足が生じるため、実費として¥1,000を徴収させていただくことになりました(学生は無料)。誠に申し訳ありませんが受付時にお支払い下さい。ご協力をお願いします。

講演プログラム

10月14日(月)

13:00~13:30 総会

【シンポジウム】 13:30~15:15

「線虫学とその周辺を考える ―線虫学のこれからの発展―」

(座長 石橋信義・真宮靖治)

13:30 S1 皆川 望(農研センター): 農業線虫問題の概観とこれからの線虫研究

14:00 S2 二井一禎(京大農): 環境問題から見た線虫類(マツノザイセンチュウを例として)

14:30 S3 田伏 洋(NEC基礎研): *C. elegans*における発癌プロモータの作用機構解析

15:00 総合討論

(休憩 15:15~15:30)

【一般講演】 15:30~17:42

(座長 百田洋二)

15:30 101 立石 靖(九州農試): ネコブセンチュウ抵抗性程度の異なるサツマイモ品種における*Pasteuria penetrans*の増殖性

15:42 102 上田康郎(茨城農研)・川田弘志・田中健一(籾ネマテック): トマト連作圃場における*Pasteuria penetrans*によるサツマイモネコブセンチュウ抑制効果

15:54 103 渡辺俊之助(アグロ・カネショウ)・小林義明・小野盾男・横山雅機(静岡農試): バスアミド微粒剤の機械施用技術(続報)

(座長 佐野善一)

16:06 104 阿部 卓・柿崎一恵(MOA自然農法連合): 自然農法におけるイチゴの*Pratylenchus vulnus*による被害発生とマリーゴールド導入の試み(第2報)

16:18 105 串田篤彦・植田健人・百田洋二(北海道農試): ダイズシストセンチュウ防除技術としてのアカクロバの間作

16:30 106 松尾和之・山本泰由・辻 博之・臼木一英(農研セ): 乾燥牛糞施用時期と大豆播種期の差異が跡地のダイズシストセンチュウのシスト密度に及ぼす影響

(座長 清水 啓)

- 16:42 107 中園和年・アブディナ・清水直也 (農整公団) : 南カリマンタンのチ
ガヤ草原開墾地におけるジャワネコブセンチュウの発生について
- 16:54 108 山本恵美子 (国際農研) : 種子島及び竹富島の畑作物から検出された
植物寄生線虫
- 17:06 109 皆川 望 (農研セ)・小山田善三 (青森農試藤坂支場)・山崎賀久 (青
森農試) : 青森農試藤坂支場の60年継続した肥料連用試験圃場におけ
る線虫密度と線虫相
- 17:18 110 佐野善一・水久保隆之・立石 靖 (九州農試) : 九州の主要ジャガイ
モ産地に分布する植物寄生性線虫
- 17:30 111 中須賀孝正 (長崎病虫防)・中園和年 (元九州農試) : 長崎県下ジャ
ガイモ畑からジャガイモシストセンチュウ (*Globodera rostochiensis*)
を検出

18:00~20:00 懇 親 会

10月15日 (火)

〔一般講演〕 9:00~12:00

(座長 荒城雅昭)

- 9:00 201 樋田幸夫 (国際農研)・八重樫隆志 (明治大農) : タイにおける野菜
加害ネコブセンチュウのアイソザイムパターンによる種の同定
- 9:12 202 大類幸夫 (日本たばこ) : RAPD-PCR法による1頭の2期幼虫から
の日本産ネコブセンチュウの同定
- 9:24 203 奈良部 孝 (農研セ)・原田昌広 (千葉大園芸) : 日本産アレナリア
ネコブセンチュウ種内の遺伝的・形態的差異

(座長 皆川 望)

- 9:36 204 水久保隆之・花田 薫 (九州農試) : 国内及び海外の同種ネグサレセ
ンチュウ個体群間に認められたPCR-RFLP法泳動パターンの差異
- 9:48 205 植原健人・百田洋二 (北海道農試) : DNAのrITS1領域の塩基配列に
基づく日本産ネグサレセンチュウ主要種の類縁性
- 10:00 206 百田洋二・植原健人 (北海道農試) : ニンニクとアイリスのイモグサ
レセンチュウの比較

(座長 清原友也)

- 10:12 207 岩堀英晶・神崎菜摘・泉井 桂・二井一禎 (京大農) : PCR-RFLP
を用いたマツ材線虫病に関わる *Bursaphelenchus* 属線虫の種間あるいは
種内アイソレイトの比較
- 10:24 208 神崎菜摘・二井一禎 (京大農) : マツ材線虫病潜在感染木の野外調査
- 10:36 209 Ho Yul Choo, Hyeong Hwan Kim and Harry K. Kaya : Effects of Pesticides
on the *Agamermis unka*, a Mermithid Parasite of Brown Planthopper

(座長 小倉信夫)

- 10:48 210 岡田浩明 (東北農試) : *Howardula* sp. の寄生によるハムシ幼虫の發育
異常と死亡
- 11:00 211 猪木寛子・後藤哲雄 (茨城大農)・山中聡・田辺博司・武内克義 (㈱
エス・ディー・エス バイオテック) : 昆虫病原性線虫の基礎殺虫活
性に関する研究
- 11:12 212 王小冬・近藤栄造・石橋信義 (佐賀大農) : 宿主昆虫死体からの出現
時期を異にする昆虫病原性線虫 *Steinernema carpocapsae* の感染性

(座長 近藤栄造)

- 11:24 213 武内克義・田辺博司・山中聡・木下正次 (㈱エス・ディー・エス バ
イオテック) : バイオセーフ[®] WDG 製剤の保存安定性及び圃場に
おける防除効果について
- 11:36 214 田辺博司・山中聡・武内克義 (㈱エス・ディー・エス バイオテック)・
森克彦 (日植防牛久) : *S. glaseri* の畑土壌における生残性と移動性
- 11:48 215 吉田睦浩 (農環研) : 北海道の *Steinernema* 属昆虫病原性線虫相につい
て

13:00~17:00 エクスカーション

- 13:00 つくば研究支援センター 発
霞ヶ浦経由、行方郡麻生町着、甘しょ選果場及び周辺の甘しょ圃場
(現地見学、線虫による被害や防除対策の説明など)
- 17:00 J R常磐線 土浦駅東口
- 17:20 つくばセンターバスターミナル
- 17:30 つくば研究支援センター 解散